



世界性の健康学会学術集会・メキシコシティ大会 セクシュアル・プレジャー宣言

第24回世界性の健康学会学術集会（於メキシコシティ）参加者は、

以下を承認する：

セクシュアル・プレジャー（快感・快楽・悦び・楽しさ）とは、他者との又は個人単独のエロティックな経験から生じる身体的および／または心理的な満足感と楽しさのことであり、そうした経験には思考、空想、夢、情動や感情が含まれる。

プレジャーが性の健康およびウェルビーイング（良好な状態・幸福・安寧）に寄与するためには、自己決定、同意、安全、プライバシー、自信、そして性的関係についてコミュニケーションしたり交渉したりする能力といった要素が重要となる。セクシュアル・プレジャーは、性の権利の文脈で行使されるべきものであり、とくに平等と非差別、自律と身体のインテグリティ（保全・完全性・統合性）にかかわる権利、望みうる最高水準の健康および表現の自由にかかわる権利が重要となる。人間にセクシュアル・プレジャーをもたらす経験は多様であり、（それゆえに）プレジャーがあらゆる人にとって肯定的な経験でありつつ、他者の人権とウェルビーイングを侵害して得られるものでないことを保障するのが、性の権利である¹。

以下を宣言する：

1. あらゆる人々にとって、差別、強要、暴力をうけることなく、楽しく安全な性的経験が可能であるということとは、性の健康とウェルビーイングの基盤をなすものである。
2. セクシュアル・プレジャーの源にアクセスすることは、人間としてあたりまえの経験および主観的なウェルビーイングの一部をなす。
3. セクシュアル・プレジャーは、人権としての性の権利の基盤をなす。
4. セクシュアル・プレジャーには、多様な性的経験をする可能性が含まれる。
5. セクシュアル・プレジャーは、世界中のあらゆる場所において、教育、健康推進、サービス提供、研究、権利擁護（アドボカシー）に統合されるべきものである。
6. セクシュアル・プレジャーをあらゆる場面に組み込み、個人のニーズ、要望、現状（リアリティ）にあったものにすることが、究極的には、国際保健と持続可能な開発に寄与することになるものであり、そのための包括的で即時的かつ持続可能な行動が求められる。

すべての政府、政府間国際組織、非政府組織、学術機関、保健および教育関係者、メディア、民間セクターおよび社会全体に対して、特にWAS（世界性の健康学会）の加盟団体すべてに対して、以下を強く要請する：

- A. 法律や制度政策において、自己決定、非差別、プライバシー、身体のインテグリティ、平等を含む、人権としての性の権利の原則に則り、性の健康とウェルビーイングの基盤として、セクシュアル・プレジャーを推進すること。
- B. 情報と自己決定に基づく、尊重された、安全なセクシュアル・プレジャーの経験を可能にするために、包括的セクシュアリティ教育が、人々の生涯に渡る多様な可能性やニーズに合わせて、インクルーシブ（包摂的）で、エビデンスと情報と人権に基づく方法で、セクシュアル・プレジャーを取り扱うことを保障すること。

¹ Adopted from: Global Advisory Board for Sexual Health and Wellbeing (2016). Working definition of sexual pleasure. Retrieved from <https://www.gab-shw.org/our-work/working-definition-of-sexual-pleasure/>



- C. セクシュアル・プレジャーを性の健康にかかわるケアサービスの提供に不可欠なものとする、そして性の健康にかかわるサービスが、アクセスおよび利用可能、入手可能な価格で、納得いくものであり、スティグマや差別、刑事訴追とは無縁な状態にあることを保証すること。
- D. ウェルビーイングの一部をなすセクシュアル・プレジャーの恩恵に関して、権利を基盤とし、エビデンスと情報に基づいた知の開発を強化すること。それには、権利を基盤に資金源を確保すること、研究手法の開発、そして個人の健康および公衆衛生に寄与するセクシュアル・プレジャーの役割に係る知の普及が含まれる。
- E. セクシュアル・プレジャーの経験が多様なものであるとの認識に対するコミットメントを、世界全体、各国、コミュニティ、対人関係および個人が**再確認**すること。このコミットメントは、あらゆる人々の人権尊重をもって、一貫性のある、エビデンスと情報に基づく政策や取組、および対人行動および集団的行為を通じてなさなければならない。

日本語訳：

Kazuko Fukuda／福田和子 (WAS Youth Initiative／ヨーテボリ大学大学院)
Masayoshi Yanagida／柳田正芳 (WAS Youth Initiative until 2019／Link-R)
Atsuko Komoda／菰田敦子 (お茶の水女子大学大学院)

監訳：

Yuko Higashi／東優子 (WAS Advisory Committee／大阪府立大学)

※訳者注：括弧内（ ）は日本語版で加筆した部分である

This Japanese version of the Declaration of Sexual Pleasure was translated by Kazuko Fukuda (WAS Youth Initiative), Masayoshi Yanagida (WAS Youth Initiative until 2019), and Atsuko Komoda. Yuko Higashi (WAS Advisory Committee) did the final proofreading.